



OpenPlant PID

オープンでインテリジェントなP&ID

OpenPlant PID (SELECTseries 6) は、P&IDの作図を支援する、高生産性・データ主導型の使いやすいアプリケーションです。オープンフォーマットの情報を収集し再利用することが可能です。きわめて重要なP&IDドキュメントを短時間で作成できるだけでなく、資産のライフサイクル全体にわたり、あらゆるプロセス情報を共有できるようにします。

インテリジェントなP&IDの迅速な作成

OpenPlant PIDは、設定が難しく使いづらいというインテリジェントP&IDソリューションの課題をクリアした製品です。OpenPlant PIDはデータ主導型の強力なアプリケーションで、インテリジェントなP&IDを迅速かつ効率的に作成する機能を備えています。また、必要な配管仕様に基づいて検証されたコンポーネントを使ってP&IDを生成することも可能です。OpenPlant PIDは、コンピュータによる製図ルーチンも用意されており、図面の生成をスピードアップします。タスクベースのナビゲーションなどの高度なユーザーインターフェースによって、使いやすく簡単に習得できるシステムです。

スタンドアロン・統合環境でのP&ID作成

OpenPlant PIDは、小規模プロジェクトの場合にはスタンドアロンのアプリケーションとして使用できますが、プラントプロジェクトのデータベースに接続することにより、可搬性や、他のBentleyプラント設計アプリケーションとの統合が実現します。

コンポーネントの一貫性と正確さ

OpenPlant PID内でコンポーネントを検証できるため、図面の一貫性と正確さを常に確認できます。検証ルールを実行するタイミングは、すぐに実行、定期的に行う、ユーザーがリクエストしたときに実行、のいずれかを選択することが可能です。

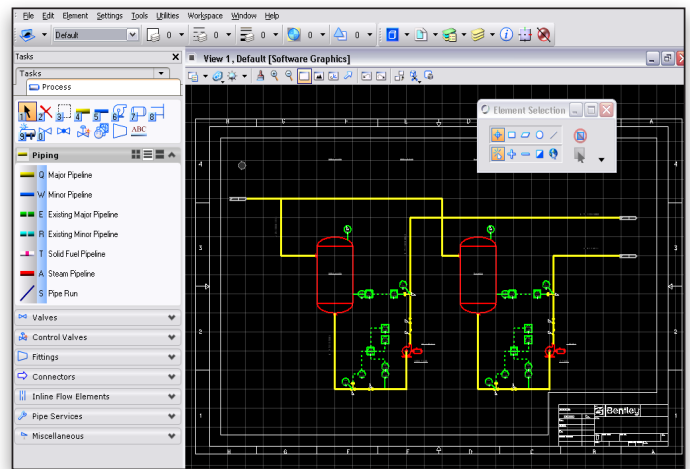
あるルールによって、無効な設計状態にあるコンポーネントが見つかった場合、そのコンポーネントにはフォローアップを求めるフラグが立てられます。図面上でフラグをどのように表示するかなど、フラグの立て方はいくつかの方法があり、ユーザーによる設定が可能です。企業独自のルールを付加してオープンデータモデルとの差別化をはかることもできます。このような柔軟性により、企業の競争力向上につながります。

強力なバージョン管理と明確なプロジェクト履歴

P&IDは継続的に改訂されるため、規制に確実に準拠するためには、属性レベルに至るまで変更を追跡することが重要です。OpenPlant PIDでは、Design Historyの機能を使用して改訂やバージョンの履歴を保存することが可能です。改訂履歴がすべて保存されているため、改訂が撤回された場合も、元の状態に復元できます。

標準規格のシンボルとアセンブリ

P&IDの開発プロセスをスピードアップするため、OpenPlant PIDには、ISAおよびISO規格に準拠したシンボルや、配管・機器の各種ライン



タスクベースのナビゲーションなどの高度なユーザーインターフェースによって、使いやすく簡単に習得できるシステム

(主配管、副配管、空圧系、電装系)、DINなどのすべてのセットが含まれています。また、OpenPlant PIDにはコンポーネント管理機能が搭載されており、シンボルのカスタマイズや、構造部品のデータとタグ番号の簡単な変更が実現するため、P&IDの作成が迅速化します。KKSユーザーの場合には、KKSのタグ付け方法で作業するために、ダウンロード用の作業領域が別途設けられています。

プロジェクト全体に対する管理機能の向上

ビジネスを推進する要因として、標準への準拠はきわめて大きく、データの整合性とデータアクセスの確保は、クライアントにとってますます重要になっています。OpenPlant PIDには強力なブラウザが組み込まれており、図面上のすべてのコンポーネントとその相互関係を一覧表示できます。加えて、図面上のコンポーネントに関連するデータを視覚化して編集することができます。パルプリスト、ラインリスト、装置リスト、設備リストなど各種のレポートはすべて、プロジェクトの把握とコスト管理にとって重要な情報です。OpenPlant PIDには、Microsoft Excelにエクスポートできる強力なレポートシステムや、Plant Project Databaseに接続してプロジェクト全体の詳細なレポートを作成する機能があります。

OpenPlant PIDを使用すると、連携可能なユーザーとしてサインインし、連携しているプロジェクトにファイルを関連付けることにより、共同作業、個人の生産性、情報共有が向上します。連携しているユーザーは、各ユーザー向けにカスタマイズされた学習コンテンツや、コミュニティ、通知、プロジェクト情報にアクセスできます。プロジェクト間の連携により、プロジェクトを進行している連携ユーザー、そのユーザーがプロジェクトに費やした時間、使用されているBentleyアプリケーションなど、プロジェクトレベルのレポートを生成することも可能です。CONNECT Editionのアプリケーションにアクセスすると、チームの協業体制の向上や現場データの管理に活用できます。

システム要件

OS:

Windows 10, 8.1, 7 (32- or 64-bit)

ソフトウェア要件:

OpenPlant PIDをインストールする前に、Desktop Prerequisite Pack v08.11.09.03をインストールする必要があります。SELECTservices Onlineからダウンロードしてください。

Citrixのサポート:

Citrix system with XenApp® 6.0 for Microsoft Windows Server 2008 R2

CPU:

IntelまたはAMD プロセッサ 2.0GHz以上

メモリ:

512MB以上 (2GBを推奨)

ハードディスク空き容量:

8GBの空きディスク容量 (完全にインストールするためのインストールフットプリント6.4GBを含む)

ビデオ:

DirectX 9.0cでサポートされるグラフィックスカード。256MB以上のビデオRAMを推奨。グラフィックスカードのビデオRAMが十分でない場合や、DirectXがサポートしていない場合、OpenPlant PIDはソフトウェアエミュレーションを試みます。最適な性能を引き出すには、グラフィックス表示の色深度を24ビット以上に設定してください。

株式会社ベントレー・システムズ

〒171-0022

東京都豊島区南池袋 1-13-23
池袋 YS ビル 8F

TEL 03-5992-7770

FAX 03-5992-7744

www.bentley.com

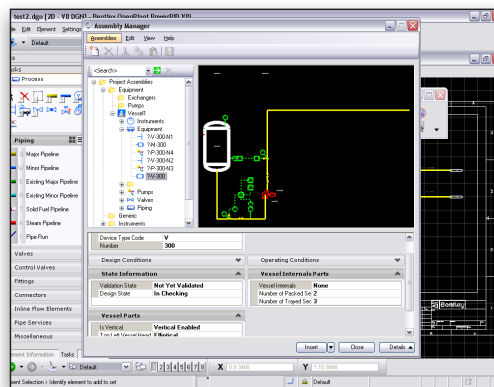
OpenPlant PIDの概要

P&IDの作成をスピードアップ

- 容器、制御バルブ、機器
- DGNおよびDWGの両フォーマットでP&IDを作成
- 高度なユーザーインターフェース (タスクベースのナビゲーション、ツールバー、選択リストなど) は、使いやすく、すぐに習得可能
- ブレークの設定による自動ラインブレーク/修正、ラインタグの更新、機器バブルのブレーク/修正、属性表示ダイアログといった、高度な製図ユーティリティ
- 削除や再作成を行うことなく、類似タイプのコンポーネントを相互に交換するコンポーネント置換ツール
- アセンブリ管理機能の向上 (インラインアセンブリなど)
- 挿入する前にアセンブリをプレビュー表示して、アセンブリ内のコンポーネントのデータとタグ番号を定義・変更できる機能

データ管理

- エンジニアリング指向ブラウザで、コンポーネントとすべてのコンポーネントプロパティの関係を表示

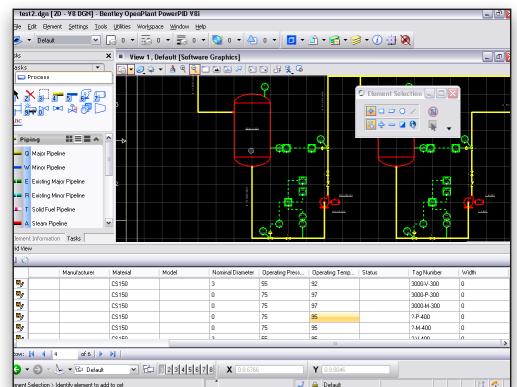


シンボルとアセンブリの使用によりP&ID開発プロセスが迅速化

- 要素情報ダイアログで、特定のコンポーネントやコンポーネントセットを参照
- 一貫性のチェックが可能
- ニーズに応じたコンポーネント検証のためのルールエンジン
- ルールは、仕様主導型のP&IDの作成に使用可能

高度なP&ID機能

- インテリジェントな注釈機能をラインと装置に対して使用可能
- 注釈は、図面内のすべての出現箇所でのライン属性を正確に反映
- ページコネクタにより、複数の図面の間で、データの自動ルックアップと再利用が可能
- ユーザーが定義できるタグフォーマットに、クラスに関連するフィールドを組み込むことで、図面精度を確保
- アイテムを配置する際にタグ付けすることも、P&IDを製図した後でアイテムにタグ付けすることも可能



OpenPlant PIDによって、必要な配管仕様に基づいて検証されたコンポーネントを使ってP&IDを生成することが可能